

斐伊川水系流域治水プロジェクトの充実について

令和4年3月23日

斐伊川流域治水協議会

流域治水プロジェクトについて

○河川管理者、都道府県、市町村、企業等からなる協議会において、河川整備に加え、流域の市町村などが実施する雨水貯留浸透施設の整備や災害危険区域の指定等による土地利用規制・誘導等、都道府県や民間企業等が実施する利水ダムの事前放流等、治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水の計画的な推進に向け連携を図る。



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川堤防や遊水地等の整備
- ・治水ダムの建設・再生
- ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・海岸保全施設の整備
- ・利水ダム等の事前放流
- ・利水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備 など

■被害対象を減少させるための対策

- ・高台まちづくりの推進(線的・面的につながった高台・建物群の創出)
- ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導 など

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
- ・要配慮者利用施設(医療機関、社会福祉施設等)の浸水対策
- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持 など

あらゆる関係者が協働して、「流域治水プロジェクト」を策定し、実行

斐伊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

- 近年全国各地にて激甚化する水災害を踏まえ、斐伊川水系においても、流域全体であらゆる関係者が協働で事前防災対策を進める必要があります。
- 砂河川である斐伊川は、河口部等の下流域に土砂が堆積しており、典型的な天井川を形成していることから、一度氾濫が発生すると被害が甚大化するおそれがあります。また、中海と宍道湖を結ぶ大橋川は、断面が小さく水はけが悪いことに加え、周辺は低平地のため氾濫した場合、浸水被害が長時間継続するおそれがあるといった特徴があります。昭和47年7月洪水により、松江市街地が一週間にわたり浸水被害が発生したこと等を踏まえ、大橋川改修や内水対策などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模である昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。併せて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制の構築や、円滑な避難行動に資する情報発信などの取組を通じて「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- **氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・ 堤防（湖岸堤含む）整備、河床掘削、河道拡幅、堤防強化対策、河道付替、放水路整備、水門整備、排水ポンプ増設、樹木伐採
 - ・ 農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修、水田の貯留機能の向上（地域排水）等
 - ・ 下水道等の排水施設（雨水管渠、雨水ポンプ場等）の整備、雨水ポンプ場整備（ポンプ増設、耐震化）
 - ・ 利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、島根県、中国電力（株）等）
 - ・ 砂防設備、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設の整備
 - ・ 治山対策、森林整備（国、機構、県、公社、市町、林業事業者）

- **被害対象を減少させるための対策**
 - ・ 立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導
 - ・ 立地適正化計画の策定

- **被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・ 防災学習、出前講座、研修、訓練等を通じた地域住民・企業等への意識啓発
 - ・ マイ・タイムラインの普及促進
 - ・ 各種ハザードマップの作成・更新
 - ・ まるごとまちごとハザードマップの推進
 - ・ 水害リスクの高い危険な箇所の点検と周知
 - ・ 情報配信ツールを活用した防災情報の提供（伝達手段の多重化）
 - ・ 感染症に配慮した避難所環境の整備
 - ・ 地域防災体制の構築支援
 - ・ 水位計・監視カメラの設置
 - ・ 高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表 他

● **グリーンインフラの取り組み** 詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

特定都市河川浸水被害対策法の一部を改正する法律（流域治水関連法）

● 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律案

<予算関連法律案>

背景・必要性

- 近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、全国各地で水災害が激甚化・頻発化
 - 気候変動の影響により、21世紀末には、全国平均で降雨量1.1倍、洪水発生頻度2倍になるとの試算(20世紀末比)
- 降雨量の増大等に対応し、ハード整備の加速化・充実や治水計画の見直しに加え、上流・下流や本川・支川の流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高める法的枠組み「**流域治水関連法案**」を整備する必要

法案の概要

1. 流域治水の計画・体制の強化 【特定都市河川法】

◆ 流域水害対策計画を活用する河川の拡大

- 市街化の進展により河川整備で被害防止が困難な河川に加え、**自然的条件**により困難な河川を**対象に追加**(全国の河川に拡大)

◆ 流域水害対策に係る協議会の創設と計画の充実

- 国、都道府県、市町村等の**関係者が一堂**に会し、官民による**雨水貯留浸透対策の強化**、**浸水エリアの土地利用**等を協議
- 協議結果を**流域水害対策計画**に位置付け、確実に実施



流域治水のイメージ

2. 氾濫をできるだけ防ぐための対策 【河川法、下水道法、特定都市河川法、都市計画法、都市緑地法】

◆ 河川・下水道における対策の強化 ◎ 堤防整備等の**ハード対策を更に推進**(予算)

- **利水ダムの事前放流の拡大**を図る協議会(河川管理者、電力会社等の利水者等が参考)の創設(※予算・税制)
- **下水道**で浸水被害を防ぐべき**目標降雨**を計画に位置付け、整備を加速
- 下水道の**樋門等の操作ルール**の策定を義務付け、河川等から市街地への逆流等を確実に防止

◆ 流域における**雨水貯留対策の強化**

- **貯留機能保全区域**を創設し、沿川の保水・遊水機能を有する土地を確保
- **都市部の緑地**を保全し、貯留浸透機能を有する**グリーンインフラ**として活用
- **認定制度、補助、税制特例**により、自治体・民間の雨水貯留浸透施設の整備を支援(※予算関連・税制)

3. 被害対象を減少させるための対策 【特定都市河川法、都市計画法、防災集団移転特別措置法、建築基準法】

◆ **水防災に対応したまちづくりとの連携、住まい方の工夫**

- **浸水被害防止区域**を創設し、住宅や要配慮者施設等の安全性を事前確認(許可制)
- **防災集団移転促進事業のエリア要件の拡充**等により、危険エリアからの移転を促進(※予算関連)
- **災害時の避難先となる拠点の整備**や**地区単位の浸水対策**により、市街地の安全性を強化(※予算関連)

4. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 【水防法、土砂災害防止法、河川法】

- 洪水等に対応した**ハザードマップ**の作成を**中小河川等**まで拡大し、リスク情報空白域を解消
- 要配慮者利用施設に係る**避難計画・訓練**に対する**市町村の助言・勧告**によって、避難の実効性確保
- 国土交通大臣による権限代行の対象を拡大し、災害で堆積した**土砂の撤去**、**準用河川**を追加

令和3年4月28日 成立

附帯決議(14項目)

三 **流域治水の取組においては、自然環境が有する多様な機能をいかすグリーンインフラの考えを普及**させ、災害リスクの低減に寄与する生態系の機能を積極的に保全又は再生することにより、生態系ネットワークの形成に貢献すること。

流域治水の推進にあたっては、
環境分野の取り組みも重要

グリーンインフラとは

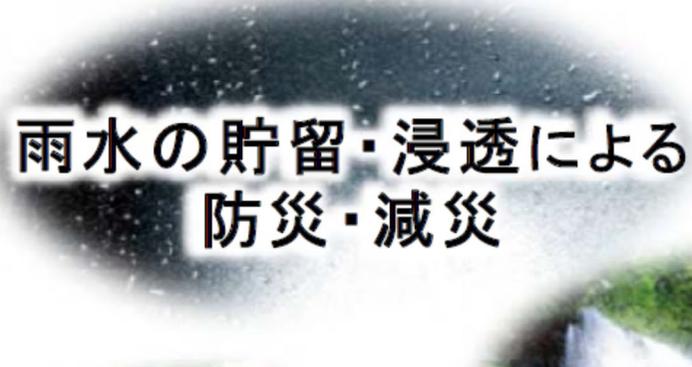
グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画(平成27年8月閣議決定)

自然環境が有する多様な機能



植物の蒸発散機能を通じた
気温上昇の抑制



雨水の貯留・浸透による
防災・減災



水源涵養



生物の生息・生育の
場の提供



水質浄化



農作物の
生産



良好な
景観形成



土壌の
創出・保全

グリーンインフラがもたらす多面的な効果

従来から自然環境が持つ機能を活用し、防災・減災、地域振興、環境保全に取り組んできた

グリーンインフラで憩う



コロナ禍を契機として、自然豊かなゆとりある環境で健康に暮らすことのできる生活空間の形成が一層求められている

グリーンインフラでつなぐ



グリーンインフラは、植物の生育など時間とともにより機能を発揮。地域住民が計画から維持管理まで参画できる取組

令和元年東日本台風時に、公園と一体となった遊水地が鶴見川の水を貯留し災害を防止するなど、**気候変動に伴う災害の激甚・頻発化への対応**に貢献

グリーンインフラで守る



SDGs、ESG投資への関心が高まる中、人材や民間投資を呼び込む**イノベティブで魅力的な都市空間の形成**に貢献

グリーンインフラで呼び込む



グリーンインフラの活用により、防災・減災、国土強靱化、新たな生活様式、SDGsに貢献する持続可能で魅力ある社会の実現を目指す

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

○ 斐伊川水系では、昭和47年7月洪水を契機に流域全体で治水を行うとする考え方を基本とし、上流の尾原ダム・志津見ダム、中流の斐伊川放水路が完成し、斐伊川治水3点セットの総仕上げとして、下流の大橋川改修と湖岸堤整備等を推進しており、これにあわせて国、県、市町等が流域全体のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

松江市街地での浸水被害を防止・軽減するためとともに、大橋川改修を実施。あわせて、近年被害が頻発している中海の湖岸堤整備を実施。

また、下水道等の整備、水害リスクを考慮した立地適正化の検討を推進し、被害軽減策として、マイ・タイムラインの普及促進、ハザードマップの更新等を実施。

【中長期】

引き続き、大橋川改修、中海湖岸堤整備を推進するとともに、斐伊川の堤防強化、宍道湖の湖岸堤整備等を実施。

あわせて、農業水利施設の整備、治山・森林整備等を推進するとともに、ソフト対策として、防災学習等の推進、住民等への情報伝達手段の多重化等を実施。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大橋川改修、中海・宍道湖湖岸堤整備、斐伊川堤防整備・堤防強化等	中国地方整備局	大橋川狭窄部の拡幅(下流) 中海湖岸堤整備(短中期箇所) 斐伊川本川堤防整備	大橋川狭窄部の拡幅(上流) 宍道湖・中海湖岸堤整備(中長期箇所) 斐伊川本川堤防強化
	河道拡幅、河床掘削、堤防整備、河道付替	鳥取県、島根県	河道拡幅・河床掘削・堤防整備等(短中期箇所) 河道拡幅・河床掘削・堤防整備・放水路整備、樹木伐採等(中長期箇所)	
	排水ポンプ・雨水ポンプの整備、雨水管渠整備、普通河川の拡幅・浚渫等	島根県、米子市、境港市、松江市、安来市、雲南市	雨水管渠整備(安来市) 排水ポンプ増設(島根県) 普通河川の拡幅・浚渫等(短期箇所)	ポンプ増設・耐震化(安来市) 雨水ポンプ増設(境港市)、雨水管渠整備(松江市) 普通河川の浚渫等(中長期箇所)
	農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修、水田の貯留機能の向上	中国四国農政局、島根県、奥出雲町	排水機場の改修等(農政局) 排水機場の更新(農政局)、農業水利施設整備(島根県) 水田の貯留機能向上(島根県・奥出雲町)	
	治山対策・森林整備	近畿中国森林管理局、森林研究・整備機構、島根県、島根県林業公社、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、林業事業体	流域内(国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業)	
被害対象を減少させるための対策	水害リスクを考慮した居住誘導	松江市、雲南市、米子市 中国地方整備局	計画策定 水害リスクマップ作成	水害リスクを考慮した居住誘導
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域住民、企業等への防災意識啓発	中国地方整備局、鳥取県、島根県、各市町	防災学習、出前講座、研修、訓練等の実施 水害リスクの高い危険な箇所の点検と周知	
	住民への情報伝達手段の多重化等	鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、中国地方整備局	情報配信ツールを活用した防災情報の提供	
	避難確保体制の構築	鳥取県、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町	地域防災体制の構築支援 マイタイムラインの普及更新	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

■事業規模

河川対策 (約1710億円)
下水道対策 (約43億円)

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～グリーンインフラ～

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
グリーンインフラの取り組み	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	中国地方整備局、島根県、松江市、出雲市	浅場造成・覆砂整備(整備局)	
			水質保全のための宍道湖ヨシ刈り(整備局、島根県、松江市、出雲市)	
	多自然かわづくり、環境に配慮した河道改修等	中国地方整備局 鳥取県 島根県 出雲市 雲南市	生物に配慮した護岸整備、生息環境の保全・再生(整備局)	
			多様な生物の生息環境の保全(鳥取県)	
			多様な生物の生息環境の保全(島根県)	
			トキの野生復帰による多様な生物の生息環境の保全(出雲市)	
	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	中国地方整備局、鳥取県、島根県、米子市、境港市、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町	大型水鳥の舞う魅力的な流域づくり(生息環境の保全・再生と地域活性化)	
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	中国地方整備局、鳥取県、米子市、松江市、雲南市	中海・錦海かわまちづくり(整備局、鳥取県、米子市)	
			宍道湖・大橋川かわまちづくり(整備局、松江市)	
			木次地区斐伊川かわまちづくり(整備局、雲南市)	
	自然環境が有する多様な機能活用の利活用	中国地方整備局 鳥取県、島根県 松江市 奥出雲町	小中学校などによる河川環境学習(整備局、島根県)	
			ミズベリング松江協議会(整備局、松江市)	
			水田の貯留機能の向上(島根県、奥出雲町)	
			洗水代掻の取組(鳥取県)	